

ニコリのたね

● あらすじ

わたしは山田みどり。母の山田あかねは図々しくて、おっちょこちょいでマイペースという困ったおばさんです。この母といっしょにこのあいだへんてこりんな、そして素敵な体験をしたんです。あれは母と二人でジョギングをしている時でした。公園まで来たところで奇妙な人に出会ったんです。彼の名は『ゴッコマン』。とにかく妙な人でした。彼は言いました。

「宝物を探しているんだが、手伝ってほしいんだ。」

私たち、はじめは警戒していたんですが、結局その話に乗っちゃったんです。だって、その宝物って、私がまだ子どもだったころ、母さんが読んでくれた本の中に出てきた『ニコリのたね』だったんです。その宝物を求めて、それはへんてこりんな大冒険が始まりました。“想像力と創造力”を駆使した“心の大冒険”でした。伝説の花が咲くという『ニコリのたね』を求めて、わたしたちは深い穴の中でおぼれそうになったり、見たこともない恐ろしい生き物に襲われたり……

そして最後に『ニコリのたね』を無事に持ち帰ることはできたのか。伝説の花『ニコリのはな』を咲かせることはできたのか……それは……ヒ・ミ・ツ……

